



第77回通常総会

CONTENTS

就任のごあいさつ.....	1	宮城県酪農協会酪農婦人研修会の開催.....	9
第77回通常総会の開催.....	2	結婚のお祝い.....	9
新役員紹介.....	3	令和8年度 組合事業.....	10~11
第7回乳質改善共励会最優秀受賞者のご紹介.....	4	輸入粗飼料情勢.....	12
支部通常総会の開催.....	5~6	New Face 新人紹介.....	13
婦人部登米・本吉支部設立.....	6	人事のお知らせ.....	14
青年部本部研修会の開催.....	7	理事会通信.....	14
青年部北部支部研修会・交流会の開催.....	7	令和7年度 生乳生産実績.....	15
東北酪農青年女性会議酪農発表大会の開催.....	8	編集後記.....	15
畜舎環境美化コンクール表彰式・研修会の開催.....	8		



就任のごあいさつ

みやぎの酪農農業協同組合
代表理事組合長

堀籠 銀寿

組合員の皆さまにおかれましては、益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。

このたびの任期満了に伴う役員改選におきましては、はからずも私が代表理事組合長に選任され、正に身の引き締まる思いと同時に責任の重大さを感じているところであります。

酪農を取り巻く環境は、飼料価格や光熱動力費など生産資材価格は依然として高水準で推移し、酪農経営は厳しい状況が継続しております。こうした中、令和7年6月の乳製品向け及び8月の飲用等向けの乳価改定の効果により、一定の収支改善が見られたものの、長引く高コスト構造や人件費等の課題も重なり離農傾向には歯止めがかからず、全国の酪農家戸数は前年比△5.2%の9,200戸となっており、営農継続に向けた施策の継続が重大かつ喫緊の課題であります。

さて、近年のような大きな変化のときこそ、人と人のつながり、そして歴史に学び、現在を理解し、未来に生かすことがとても重要であります。そのためにも組合員、役員、職員相互の関係性をより深化させながら、信義則と公平則を軸に、協同組合固有の理念であります相互扶助の精神を忘れることなく、酪農専門農協としての使命を認識し、「組合員第一」を念頭に、安心して酪農に取り組むことができるような環境づくりを目指して、日々粉骨砕身の気持ちで頑張っている覚悟であります。

また、組合員の皆さまの要望やニーズに応えるべく体制を整え、「経営の健全化に最大の奉仕が宿る」ことを基本に、組合員のための組織づくりを目指してまいりたいと考えております。

どうか組合員皆様のご支援、ご協力を切にお願い申し上げ、就任のあいさついたします。

第77回通常総会の開催

総務課



伊藤組合長による挨拶

出席された来賓・組合員に謝意を表し、「酪農情勢は、飼料価格の高止まりや労働力不足により厳しい環境が続いており、国内生乳生産基盤の営農継続に向けた施策が重大かつ課題であります。他方、飲用向け需要の減少等により脱脂粉乳在庫が積み重なり、令和7年度期末在庫が大きく増加したことから酪農乳業需給変動対策特別事業による削減対策が実施されました。令和8年度においても、脱粉在庫増大が見込まれており、在庫削減対策を拡充する

必要性から、本年10月から令和9年度年度末までの時限措置が決定されております。東北地域の生乳需給については、福島県郡山市に新たな乳業株式会社が建設予定となっており、今後の需給調整機能の安定感が図られ、持続可能な酪農基盤を支える役割として大いに期待しています。今後も引き続き、酪農経営をいかに支え地域の酪農振興をいかに図るかを念頭に、組合員の皆様の利益を最優先に営農と生活を守り続けられるよう組合員本位の事業運営に取り組んでまいります。」と述べました。

続いて宮城県農政部長菊池弘之様(代読)、全国酪農業協同組合連合会代表理事会長隈部洋様(代読)、東北生乳販売農業協同組合連合会代表理事専務奥田眞様からそれぞれ祝辞をいただきました。

議長には、大崎支部佐々木一憲氏が選出され、提出議案の第1号議案から第6号議案まで全議案原案通り承認可決され通常総会は閉会いたしました。

総会後の理事会において、代表理事組合長には堀籠銀寿氏(新任)、常務理事には芳村 宏氏(再任)が就任されました。また、理事会後の監事会において、代表監事には阿部耕太郎氏(新任)が就任されました。

去る6月29日(月)午前10時30分から、大和町『まほろばホール』にて、第77回通常総会を開催いたしました。

伊藤代表理事組合長の開会宣言のあと、第7回乳質改善共励会表彰及び購買品高位利用者表彰が行われ、乳質改善共励会表彰24名の代表として白石・七ヶ宿支部齋藤和宏様、購買品高位利用者16名の代表として栗原支部(有)小山牧場様に表彰状及び副賞を贈呈し、その功績を讃えました。

続いて開会にあたり、

伊藤代表理事組合長は



議長を務められた佐々木一憲様



最優秀賞 齋藤和宏様



購買品高位利用者表彰 (有)小山牧場様

開催日現在正組合員数	172名
出席正組合員数	171名
出席形態別内訳	
本人出席	41名
代理出席	2名
書面出席	128名

みやぎの酪農農業協同組合 新役員紹介



代表理事組合長 堀籠 銀寿



常務理事 芳村 宏



理事 佐々木 貞裕



理事 江場 総一



理事 曾根 茂



理事 高橋 光浩



理事 佐藤 吉彦



理事 佐藤 勝彦



理事 佐藤 清志



理事 柴田 敬蔵



理事 八巻 誠



代表監事 阿部 耕太郎



監事 小野寺 佑友



監事 佐藤 智幸

○最優秀賞

白石・七ヶ宿支部 齋藤 和宏

第77回通常総会において、第7回乳質改善共励会の最優秀賞を受賞された白石・七ヶ宿支部 齋藤和宏さんをご紹介します。

【齋藤牧場のあゆみと経営概況】

齋藤牧場は、祖父が3頭の乳牛を導入したことから始まり、その後父が40年前に30頭牛舎を建て、増改築を行いながら現在は54頭を飼養しています。和宏さんは高校卒業後、会社員として勤めていましたが、平成23年に就農し、現在は父と2人で酪農に従事しています。

繁殖管理で行っていることは、未経産牛には性判別精液のみ使用し、経産牛にはF1（交雑種）とET（受精卵移植）を使用して、後継牛の確保と副産物による収益性の向上に努めています。

【乳質改善への取組み】

乳房炎ワクチン接種とビタコーゲンを活用して牛の体調管理・維持に役立てている他、10年ほど前から、年に1回SA（黄色ブドウ球菌）検査を行っており、この結果をもとに牛に順位をつけて、牛の乳房炎の発生や感染を防いでいます。

また、牛には良質な飼料を十分に給与することが重要であり、飼料価格高騰は懸念していますが、飼料の給与量を減らしたり質を落とすことは牛の体調や乳質に直結してしまいます。人も牛もおいしいものを食べると元気でいられるということを大切に、日頃から牛の体調を第一に考えてきたことが受賞につながったと思います。



最優秀賞



青年部南部支部総会の開催

仙南支所

4月9日(木)、大河原町「おおがわら天然温泉 いい湯」にて、青年部南部支部通常総会を開催しました。

議長には、伊具支部の佐藤 涼氏が選出され、提出された議案について、全ての議案が原案どおり承認されました。

総会終了後に懇親会を開催し、伊藤組合長と意見交換を行った他、部員同士で地域酪農の発展や部員相互の連携強化に向けた意見や青年部活動への積極的な参加と協力が呼びかけられました。



栗原支部通常総会の開催

生産支援課

4月10日(金)、栗原市築館「仙台総合会館」にて、栗原支部通常総会を開催し、提出された議案について、全ての議案が原案どおり承認されました。

総会終了後には懇親会を開催し、参加者同士が交流を深め、和やかな雰囲気の中で親睦を図る有意義な時間となりました。



遠田支部通常総会の開催

生産支援課

4月14日(火)、美里町「みどりの会館」にて、遠田支部通常総会を開催し、提出された議案について、全ての議案が原案どおり承認されました。

総会終了後は、懇親会を開催し組合員同士の交流を図り、親睦を深めることができました。



豊里支部通常総会の開催

生産支援課

4月21日(火)、登米市津山町「三浦旅館」にて、豊里支部通常総会を開催しました。今回は役員改選があり、支部長には高橋将氏が選任されました。

総会終了後は、懇親会を開催し組合員同士の交流を図り、親睦を深めました。



登米支部通常総会の開催

登米事業所

5月15日(金)、登米市「味処花遊膳」にて、登米支部通常総会を開催しました。

農繁期と重なり本人出席者は少数でしたが、総会後には懇親会を開催し、組合員相互の交流を図り、親睦を深めることができました。



白石・七ヶ宿支部通常総会の開催

仙南支所

5月18日(月)、白石市「不忘研修センター」にて、白石・七ヶ宿支部通常総会を開催し、提出された議案について、全ての議案が原案どおり承認されました。

質疑応答では多くの意見が交わされ、総会後の懇親会では組合員同士の交流を図り、親睦を深める良い機会となりました。



本吉支部通常総会の開催

登米事業所

5月20日(水)、南三陸町「ニュー泊崎荘」にて、本吉支部通常総会を開催しました。

今回は役員改選があり、支部長には阿部俊幸氏が選任され、新体制での本吉支部がスタートしました。

総会後には懇親会を開催し、料理を堪能しながら組合員相互の交流を図り、親睦を深めることができました。



伊具支部通常総会の開催

仙南支所

5月25日(月)、丸森町「丸森まちづくりセンター」にて、伊具支部通常総会を開催しました。提出された議案について、全ての議案が原案どおり承認されました。

また、総会の記念品として牛肉を配布し、畜産物の消費拡大を意識した取り組みとしました。



婦人部登米・本吉支部設立

登米事業所

6月25日(木)、登米市「割烹若鯔」にて、婦人部登米支部と婦人部本吉支部が合併し、新たに「婦人部登米・本吉支部」が設立しました。

これまで支部員が減少している状況のもと、合同役員会で両支部の今後のあり方について協議を重ねてきました。

部員数は17名となり、支部長には「佐藤典子氏」が選任され、「新たな支部体制がスタートします。様々な活動を通して交流し、盛り上げていきたい」と意気込みを語りました。



青年部本部研修会の開催

生産支援課

3月6日(金)、仙台市「シェルコムせんだい」にて、28名の参加のもと講師に株式会社渥美牛群管理サービス獣医師の望月崇弘氏をお招きし、「繁殖成績を“見える化”すると何が変わる」及び「渥美牛群での繁殖・治療への取り組み」の2つをテーマに青年部本部研修会を開催しました。

妊娠率を数値化するなど、繁殖成績を見える化することの必要性や育成牛から採卵するLOPU^{※1}による遺伝的改良の可能性についてのお話があり、自分たちの経営に直結する内容であり真剣に耳を傾けていました。

昼食を挟んで、東北酪青女の経営発表大会で発表される千葉進也氏のプレ発表を行いました。発表内容を聞いた部員からは、ポイントを3つ位に絞り内容をもっと具体的に説明すると理解しやすいなどのアドバイスがありました。

続いて、抽選会を行い1等賞の景品は、南部支部の小峯真喜氏が当選しました。

※1 LOPU (Laparoscopic Ovum Pick-Up) とは、「腹腔鏡下生体内卵子吸引」という最新の繁殖技術で、腹腔鏡を使い、お腹の小さな穴から卵巣へ直接アプローチして卵子を採取します。



青年部北部支部研修会・交流会の開催

生産支援課

3月31日(火)、大崎市古川「ファンキーボウル」にて、青年部北部交流会を開催しました。当日は多くの参加者が集まり、ストライクが出るたびに歓声が上がるなど、終始和やかな雰囲気の中で競技が進みました。その後の研修会では、乳房炎の低減を目的に、乳房炎ワクチンや乳腺の損害の抑制と保護する作用をもつ、ポリアクリル酸ナトリウムの効果などについて紹介しました。



東北酪農青年女性会議酪農発表大会の開催

生産支援課

3月25日(水)、福島県飯坂町の穴原温泉「吉川屋」にて、東北酪農青年女性会議酪農経営発表大会が開催されました。経営発表の部は、鳴子支部の千葉進也氏が「総合力で勝負する～地味を地道にしっかりと～」と題し、経営の柱である資金管理での投資金額を年間乳代金の概ね10%以下に設定し、内部留保を確保することで経営の安定を図っていること。また子牛売却益の最大化では、生乳と代用乳を独自の混合割合で調整したメニューで給与し安定した成績を取り続けていること。そして将来に向けての先行投資や経営継承の考え方などについて発表しました。

意見・体験発表の部は、岩手県の山中涼穂氏が「21歳の私」と題し、自然と牛が大好きで酪農をしながらも休日をしっかりと楽しむ両親の姿を見て「酪農っていいな」と思うようになり、北海道の牧場への就農、海外での牧場実習や研修などで自分の世界が広がった体験を発表しました。



畜舎環境美化コンクール表彰式・研修会の開催

生産支援課

3月11日(水)、本所大会議室にて令和7年度畜舎環境美化コンクール表彰式を開催しました。

初めに、最優秀賞及び宮城県農政部畜産課課長賞を受賞した石巻支部伊藤生子さんが、伊藤組合長から最優秀賞の賞状と副賞を授与した後、宮城県農政部畜産課倉部技師から畜産課長賞の賞状を授与しました。続いて優秀賞を受賞した南部支部木村淳子さん、大崎支部我妻良子さん、優良賞を受賞した栗原支部鈴木咲子さん、南部支部佐久間幸枝さん、南部支部阿部由紀子さん、大崎支部佐々木博子さん、南部支部佐藤裕子さん、努力賞を受賞した南部支部木村せい子さん、登米支部木村邦子さんに伊藤組合長から賞状と副賞を授与しました。

研修会では、「ポットカーネーションとアジサイの管理方法」と題し、雪印種苗株式会社園芸担当部長田和哉氏より講演を頂きました。花を長く持たせる手入れ方法や、挿し木の増殖方法など分かりやすく解説いただき、参加者からは「日頃の花苗の育て方に役立った」などの声が寄せられました。



宮城県酪農協会酪農婦人研修会の開催

総務課

3月10日(火)、宮城県酪農協会では大和町吉岡の「まほろばホール」にて、酪農婦人および酪農乳業関係の女子社員及び女子職員を対象とした「宮城県酪農協会令和7年度酪農婦人研修会」を開催しました。みやぎの酪農協、宮城県酪農協、酪農乳業関係から約70名が参加し、伊藤会長(みやぎの酪農協組合長)の挨拶と、(一社)全国酪農協会酪農共済推進部 山口部長から祝辞をいただいた後、落語家の六華亭遊花さんによる講演が行われました。講演では「自身の祖母のお茶会」を題材にした話や「牛になった嫁」の落語を面白おかしく披露され、会場は笑いに包まれる中、家庭における女性の笑顔とユーモアの大切さを学びました。参加者からは、「とても面白くて涙を流して笑った」「改めて家庭内での笑顔が大事であると感じた」「もっと話を聞きたかった」等の感想があり、また参加者同士でも交流が深まり有意義な研修会となりました。



ご結婚おめでとうございます

仙南支所

蔵王支部 大森勁諄さん・香恋さん ご結婚

蔵王支部の「大森勁諄さん」と「香恋さん」が1月1日に入籍されました。お二人の末永いご多幸とご繁栄をお祈り申し上げます。



販売

● 生乳増産対策事業

目的：生乳生産基盤を強化し生乳の安定供給を行うため、生乳増産分に対して奨励します。

内容：過去3年間の平均出荷乳量を上回った乳量に対し、kgあたり10円を奨励します。

ただし、1戸あたりの上限を100万円以内とします。

● 酪農経営支援対策事業

目的：配合飼料等生産資材価格は高止まりしており、酪農経営は厳しい経営環境にあることから、組合員負担の一部を支援します。

内容：kgあたり0.15円を支援します。

● 良質乳生産対策奨励金交付事業

目的：消費者の「食の安全・安心」に対する関心の高まり、良質乳の生産が求められていることから良質乳確保のため、奨励金を交付します。

内容：月2回(上旬・下旬)の配分検査において、基準値(脂肪率3.5%以上・無脂固形率8.4%以上・細菌数10万/ml未満・細胞数30万/ml未満)を年間通してクリアした組合員に対し、出荷乳量に応じてkgあたり0.4円を交付します。

● 乳質改善共励会

目的：消費者からの生乳の安全確保に向けた取り組みが求められていることから、乳質の向上と新鮮で良質な生乳を供給することにより、生乳の有利販売に繋げることを目的に共励会を実施します。

内容：バルク乳の4月から3月までの24回検査成績により採点し、配点表による得点により審査します。また、審査の結果、同点の場合には開催期間中の生乳出荷乳量の多い生産者を上位とします。

なお、下記に該当する生産者は審査対象外とします。

- 期間中に不合格(脂肪率3.5%未満、無脂固形率8.4%未満、細菌数10万/ml以上、細胞数30万/ml以上)の生乳があった生産者。
- 販売不可能乳等(廃棄事故)の発生があった生産者。生乳生産管理チェックシート記帳に不備があった生産者。
- 行政機関等より改善命令等があった生産者。牛舎環境の整理整頓がされていない生産者。

審査結果及び表彰：審査結果に基づく、表彰者・表彰は総会時に行います。

入賞者への褒章等：入賞者への褒章等については賞状・賞金等の授与を行います。

【入賞者への褒章等】

最優秀賞	1名	賞状・賞金 10万円
優秀賞	3名	賞状・賞金 7万円
優良賞	6名	賞状・賞金 5万円
努力賞		賞状・賞金 3万円

※努力賞は最優秀、優秀、優良賞以外の審査基準を年間通しクリアした生産者。

※賞金については、金額相当(購買品利用券、現金の何れか)を贈呈。



購買

● 配合飼料利用に対する支援

目的：配合飼料の供給量に応じた奨励措置を行い、コスト削減による経営の安定を目的に支援します。

内容：乳配、育成、乾乳用配合飼料の前月購入量に応じた奨励措置を行います。

奨励単価(税別) 前月購入量	① 5 t～10 t未満	500円
	② 10 t～15 t未満	800円
	③ 15 t～25 t未満	1,000円
	④ 25 t以上	1,500円

● 季節別支援対策

目的：夏場の猛暑による乳量の減少や乳質の低下、また、冬場の寒さによる子牛の体調管理や事故防止を目的に、その季節に役立つ資材を供給します。

内容：夏場…重曹、ビタミンミネラル剤等のキャンペーン(5月～9月)

冬場…子牛用防寒着等のキャンペーン(11月～12月)

● 自給粗飼料生産向上に対する支援

目的：良質な自給飼料生産に必要な資材を、早期の予約で物量を確保し、予約価格により供給することで支援します。

内容：①春用肥料 10月予約取り纏め

肥料(年内価格と年明け価格の2種類を設定)

②春用資材 1月予約取り纏め

飼料用種子、ラップフィルム、トワイン、ロールネット、除草剤

③秋用資材 7月予約取り纏め

飼料用種子、ラップフィルム、トワイン、ロールネット、除草剤

● 良質自給飼料生産確保対策(草地簡易更新事業)

目的：近年の猛暑、大雨、台風など自然災害により、裸地や雑草が増えている状況から良質な粗飼料の増産と確保、粗飼料基盤の強化を目的に事業を継続します。

内容：正組合員で購買利用があり、牧草種子を購入している方を対象に、春と夏の2シーズンに簡易更新機の貸出を行います。希望者が多い場合は、まとまった面積のある方を優先します。利用料は1haあたり5,000円(税別)、運搬費として5,000円(税別)の負担をいただき、組合が指定する種子を購入していただきます。

指 導

● 雌雄判別精液(Sort90)助成事業

目的：乳用後継牛の確保と生産基盤維持のため、雌判別精(Sort90)を授精した正組合員へ助成します。

内容：授精回数1頭1回あたりの助成金額は3,000円とします。但し、乳用牛長命連産性等向上緊急支援事業との重複はできません。

● 良質乳対策(バルク乳スクリーニング検査)事業

目的：乳房炎の起因菌の有無を検査し、早期発見とそれに対応した乳房炎対策を行い、生乳生産量の低下の防止及び良質乳生産することで経営の安定を図ります。

内容：年度内4回のバルク乳を採取し、検体を共済組合にてスクリーニング検査を実施します。

バルク乳スクリーニング検査1回当たりの助成金額は1,000円とします。

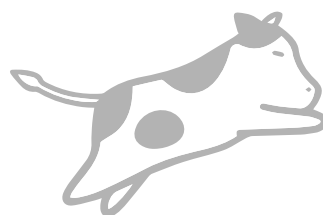
● 乳房炎ワクチン接種助成事業

目的：乳房炎は、生乳生産量の減少や乳質の低下により、酪農経営に最も甚大な損失を与えています。乳房炎ワクチン接種を行うことにより乳質と収益の向上に資することを目的とします。

内容：接種回数1頭3回で助成金額は3,000円とします。初妊牛への乳房炎ワクチン接種後、助成交付申請書等(初妊牛と乳房炎ワクチン購入が確認できる書類)を提出してください。

※1 助成事業実施期間は、令和8年4月1日から令和9年3月31日までです。

※2 毎月5日までに必要書類を組合へ提出願います。



ビートパルプ

2025年産のビートパルプの生産は終了し、ペレットの生産も5月中にすべて終了する予定となっています。米国産ビートパルプペレットは、生産量の減少が見込まれる中で、欧州やメキシコからの引き合いが強く、エジプト産や欧州産の価格も値上がりしているため、米国産の価格は今後も底堅く推移すると予想されます。

アルファルファ

ワシントン州コロンビアベースンやオレゴン州クラマスフォールズでは、2026年産の生育が進んでおり、コロンビアベースンではまもなく1番刈りが始まる時期ですが、一部で降雨が発生しているため、雨が過ぎるのを待ってから収穫されます。

今年は山間部における積雪水量が例年を下回っており、米国北西沿岸部の乾燥状態も昨年同時期と比べてやや強まっています。

チモシー

(米国産)

ワシントン州コロンビアベースンでは、チモシーは順調に生育しています。エレンスバーグの一部圃場で洪水被害があったものの、現時点で大きな品質影響は確認されていません。米国西海岸におけるチモシーの作付面積は、前年より増加すると見込まれており、収穫期の天候次第ではありますが、今年は供給数量の改善と価格の安定が期待されています。

(カナダ産)

主産地であるアルバータ州南部(灌漑地域)では、灌漑用水源が回復傾向にあり作付面積は昨年比で増加する見通しです。現地では酪農家や肥育農家からの引き合いが増加しており、新穀開始時期までに2025年産が販売されると予想されます。

同州中部(非灌漑地域)では、冬場の降雨・降雪に恵まれ土壌水分は改善傾向にあり、南部同様に作付面積は昨年比で増加する見通しです。

クレイングラス

2026年産の作付面積は増加する見込みです。現地では3月上旬から圃場へ灌漑を開始しております。1番刈りは4月下旬から5月上旬にかけ収穫される見込みですが、中東情勢の悪化に伴い燃料費・肥料価格が高騰し生産コストは上昇しており、また2025年産の繰り越し在庫も少ないため、2026年産の取引価格は上昇する可能性があります。

豪州産オーツヘイ

2026年産に向けた播種が順調に進む中、一部の農家ではオーツの作付けを検討しており、今後はオーツヘイの生産増が期待されております。

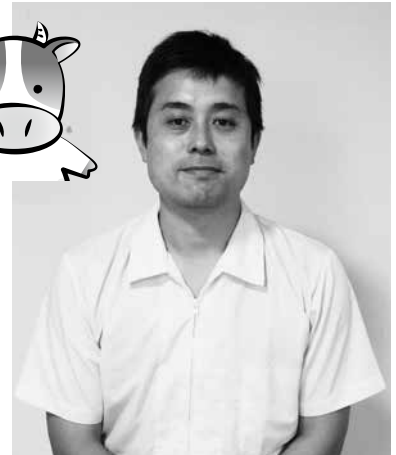
豪州国内では干ばつによる不作から、低級品を中心に国内酪農家からのオーツヘイの需要が高く、取引価格は高値を維持しています。加えて自給飼料不足の韓国や乳価が上昇している中国からの需要も底堅く、価格は堅調に推移しています。

仙南集乳所販売係【大沼 友寛さん】

令和7年12月1日より仙南集乳所販売係に所属しています、大沼 友寛と申します。

仙台市出身で仙台電波高専を卒業後、様々な業種を経験しました。その中でも、農業高校に勤務していたときに酪農に興味を持っていたため、生乳の検査・受入業務に携わることができ、日々の業務にやりがいを感じています。

まだまだ分からないことがたくさんありますが、少しでも早く業務を覚えられるよう頑張りますので、これからもよろしくお願いします。



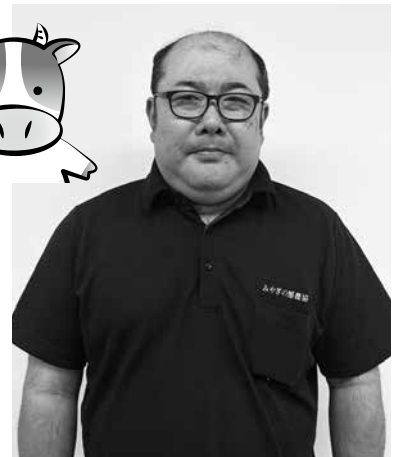
生産支援課購買係【佐々木 勉さん】

令和7年12月25日より生産支援課購買係に所属しています、佐々木 勉と申します。

事務所内の倉庫にて、主に飼料の在庫管理や入出庫を担当しています。

出身地は美里町(旧小牛田町)で、現在も美里町在住です。幼い頃から暮らしてきたので、この町に愛着をもっています。

酪農の経験は全くありませんが、業務内容を早く覚えて戦力になれるように、日々精進して参ります。



総務課総務係【當摩 あゆみさん】

令和8年1月20日より総務課総務係に所属しています、當摩 あゆみと申します。

大崎市鹿島台出身で、小牛田農林高校では畜産を専攻しており、在学中は柔道部に所属していました。趣味は「すずめ踊り」で、5月の仙台青葉まつりでも踊りました。

酪農共済の担当をしておりますので、ご入用の際はお気軽にお声掛けください。



区 分	氏 名	新 職	旧 職	発 令 日
正職員	小高 由枝	—	生産支援課指導係(退職)	令和8年3月31日
正職員	阿部 孝彦	仙南支所業務係兼総務係(採用)	—	令和8年4月1日
正職員	西 晶子	生産支援課購買係	生産支援課指導係	令和8年5月1日
正職員	櫻井 貴之	生産支援課指導係(採用)	—	令和8年5月1日
正職員	山内 祐輔	—	生産支援課指導係(退職)	令和8年6月12日
正職員	日野 裕治	生産支援課長兼登米事業所長	生産支援課長兼指導係長	令和8年6月16日
正職員	石森 宏幸	生産支援課指導係長兼指導係	登米事業所長	令和8年6月16日
正職員	飯塚 大智	登米事業所指導係長兼指導係	登米事業所指導係	令和8年6月16日

理事会通信

総務課

【令和7年度 第12回理事会】

開催日 令和8年3月30日

付議事項

- 第1号議案 令和7年度決算基準(案)について
- 第2号議案 総務委員会及び業務委員会からの答申について(令和8年度事業計画(案)について)
- 第3号議案 常勤役員の通勤手当支給に関する規程等の制定について
- 第4号議案 令和8年度借入金の最高限度の決定について
- 第5号議案 令和8年度貸付金の利率の最高限度額の決定について
- 第6号議案 令和8年度同一人に対する信用供与(資金の貸付額、畜産環境整備リースの間接リースの額及び畜産近代化リースの額の合計額)の最高限度額の決定について
- 第7号議案 令和8年度の余裕金運用について

【令和8年度 第1回理事会】

開催日 令和8年4月30日

付議事項

- 第1号議案 監事に提供する決算書類の承認について
- 第2号議案 理事会推薦理事候補者の推薦について

【第2回理事会】

開催日 令和8年5月21日

付議事項

- 第1号議案 令和7年度決算にかかる監事監査報告について
- 第2号議案 令和7年度決算書類の承認について
- 第3号議案 通常総会の招集について
- 第4号議案 定期賞与(6月期)の支給について

令和7年度 生乳生産実績

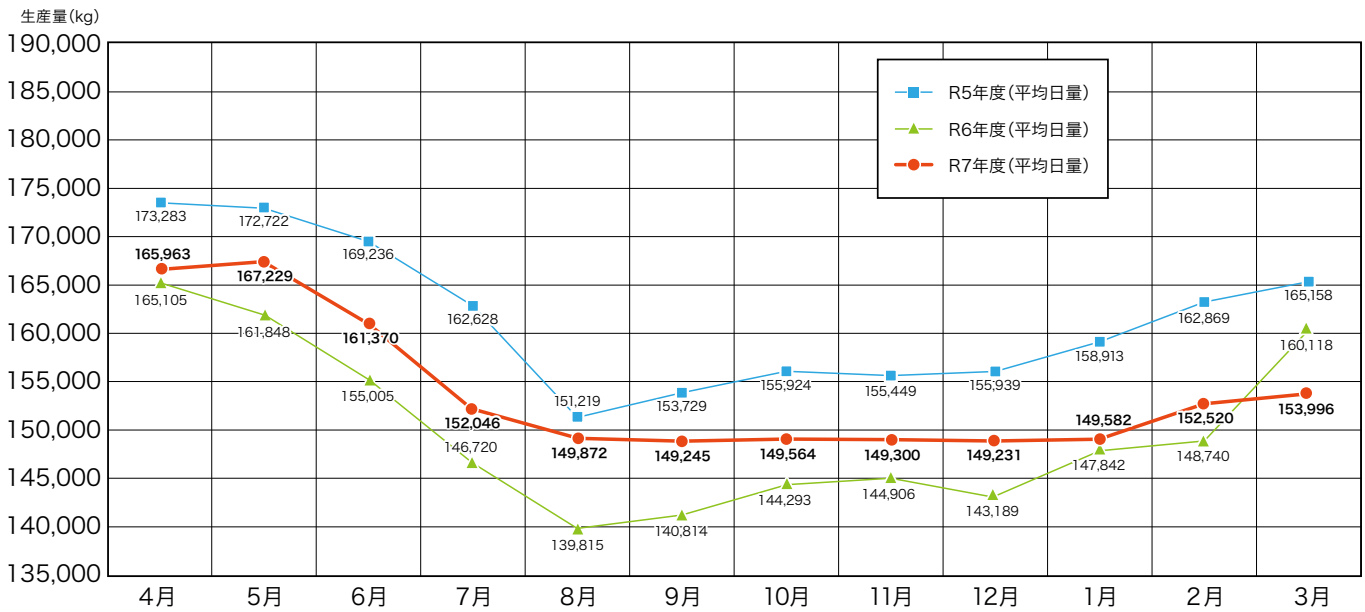
生産支援課

令和7年度 生乳生産実績(バルク乳量) (4月～3月分 標準進捗率100%)

(単位:戸、kg、%)

支 部 名	戸数	バルク乳量	前年同期乳量	前年同期比	生乳出荷目標数量	進捗率
白石・セヶ宿支部	21	8,193,642.1	8,459,925.9	96.85	8,858,910.0	92.49
蔵 王 支 部	19	7,133,912.0	7,298,883.0	97.74	7,634,854.0	93.44
柴 田 支 部	10	3,454,159.0	3,542,790.0	97.50	3,701,139.0	93.33
伊 具 支 部	12	3,919,674.4	3,751,494.2	104.48	3,920,384.0	99.98
仙 台 支 部	12	3,602,157.0	3,670,422.0	98.14	3,834,243.0	93.95
大 崎 支 部	15	2,845,923.0	3,033,408.0	93.82	3,176,467.0	89.59
遠 田 支 部	11	8,646,688.0	6,163,438.0	140.29	6,454,115.0	133.97
加 美 支 部	6	1,572,749.0	1,493,627.0	105.30	1,564,069.0	100.55
鳴 子 支 部	6	1,496,531.0	1,515,044.0	98.78	1,586,496.0	94.33
栗 原 支 部	23	5,229,222.0	5,444,556.0	96.04	5,672,514.0	92.19
登 米 支 部	17	6,504,788.0	6,679,842.0	97.38	6,824,892.0	95.31
本 吉 支 部	7	1,091,751.0	1,174,898.0	92.92	1,230,277.0	88.74
豊 里 支 部	12	2,572,879.0	2,618,629.0	98.25	2,694,640.0	95.48
合 計	171	56,264,075.5	54,846,957.1	102.58	57,153,000.0	98.44

みやぎの酪農乳量(平均日量)



[編集後記]

気象庁は「最高気温が40℃以上の日」について「酷暑日」と定めることを発表しました。年々暑さが酷くなる一方ですが、最高気温が45℃以上になったら「極暑日」とでも呼ぶ日が来るのでしょうか。「酷暑日」を目にする機会が少ないことを祈りつつ、熱中症対策を万全にして過ごしたいものです。

発行

遠田郡美里町北浦字道祖神前16

みやぎの酪農農業協同組合

TEL. (0229) 34-2311 (代表)

.....